

令和5年度 事後評価シート

【事務事業シート（政策的経費）】

1	当初	事項	地元森林材活用促進事業費（東予）							予算主管課	林業政策課
		事業概要	地元産の原木供給量の増大を図るため、県・市・林業事業者の持つ山林データを活用して、施業対象森林の選定迅速化や土地境界未確定森林における簡易な精算手法の実証を行う。							始期	R3
										終期	R5
	K P I	東予地区の森林経営計画策定面積									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間		時点・期間		時点・期間	
		現状値	418 ha	目標値	500 ha	目標値	ha	目標値	ha	目標値	ha
				実績値	169.4 ha	実績値	ha	実績値	ha	実績値	ha
				達成率	33.88 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計予算額	997 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額		956 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>令和3年度から令和5年度の目標を、それぞれ350ha,400ha,500ha（計1250ha）としていたところ、実績は418.37ha,593.69ha,169.4ha(計1181.46)で達成率95%となった。実績年平均は393.82haとなり、令和3年度の目標を上回り一定の成果が得られた。最終年度が大幅に下回った原因としては、令和3年度及び令和4年度に前倒して森林経営計画を樹立したことが考えられる。また、バスケット精算で樹種による単価差（スギ・ヒノキで4000円程度/m3）を考慮していないため一部所有者の理解が得られなかったものと考えられる。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p> <p>一定の成果はあったものの、今後は、リモートセンシング技術を活用し樹種ごとの資源量の把握を行い、より精度の高い積算方法を確立し所有者の理解を得る必要がある。</p>									
	見直し方向性	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））									
2	12月補正後（追加）	事項	林業・木材産業効率化支援事業費							予算主管課	林業政策課
		事業概要	ウッドショック後、円安や資材価格高騰の影響により林業・木材産業に広く影響が及んでおり、特に燃油価格や原材料価格高騰の影響で経営が圧迫されている林業事業者や木材製造業者等に対し生産性や燃費性能の改善を図ることで生産コストを低減し、経営の改善や事業継続のための支援を行うもの。							始期	R4
										終期	R5
	K P I	県の支援を受けた林業事業者等の素材生産量増加率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間		時点・期間	
		現状値	-	目標値	10 %	目標値	%	目標値	%	目標値	%
				実績値	17 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	170.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト	最終現計予算額	30,000 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円		
決算額		29,999 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円			
5年度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p> <p>国庫補助では対象とならないような小規模な施設や機器の整備を行った結果、県内の素材・木材生産の現場において、生産性や作業効率の改善が図られ、短期間であるがKGI実績値の目標達成が図られた。国の臨時交付金対象事業のため、R5年度で廃止となるが、年度内に十分な事業期間が確保できなかったため、R6年度に繰り越した。今後は、引き続き国の総合対策を活用するなど、各種施策を展開しながら生産量の増加に務めることとする。</p>									
	見直し方向性	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））									

3	2月 補正	事項	林業成長産業化総合対策事業費							予算主管課	林業政策課
	事業概要	「えひめ農林水産業振興プラン2021」及び「林業躍進プロジェクト(第2期)において目指す、県産材の増産による林業の成長産業化を強力かつ加速的に推進するため、国の「森林・林業・木材産業グリーン成長総合対策事業」「合板・製材・集成材国際競争力強化・輸出促進対策事業」を活用し、川上から川下に至る総合的な支援を実施する。								始期	H21
										終期	-
	K P I	国の支援メニュー活用による県産材生産増加量									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	28 千m3	目標値	28 千m3	目標値	28 千m3	目標値	28 千m3	目標値	28 千m3
				実績値	R6年9月頃判明 千m3	実績値	千m3	実績値	千m3	実績値	千m3
				達成率	- %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	203,892 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	202,228 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>当該事業の実施により、間伐材生産や路網整備、加工流通施設の整備等が進んだことで県産材の増産体制が強化され、KPIの目標値は達成される見込み。</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度のKPIの実績は、ほぼ想定どおりの成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえるとKPIはそのまま目標を達成すると見込まれることから、6年度以降における執行方法の見直し等は想定していない。</p>								

4	当初	事項	林業躍進プロジェクト推進事業費							予算主管課	林業政策課
	事業概要	林業躍進プロジェクト(第2期)の進行を管理するとともに、森林認証材やカーボンオフセット制度の普及等を行う。								始期	H12
										終期	R7
	K P I	林業躍進プロジェクトの達成率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	75 %	目標値	80 %	目標値	90 %	目標値	100 %	目標値	%
				実績値	90 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	112.50 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	2,971 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	2,556 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析	<p>評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）</p> <p>総括（事業最終年度の場合、要記入。）</p>									
	見直し方向性	維持	<p>見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等））</p> <p>5年度のKPIの実績は、想定内の成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえるとKPIはそのまま目標達成が見込まれることから、6年度の執行方法の見直し等は想定していない。</p>								

5	当初	事項	特用林産物生産販売促進事業費						予算主管課	林業政策課	
	事業概要	概要	価格向上とブランド力の強化を目指すとともに、農山村地域の活性化を図るため、特用林産物の生産者確保や収量の安定化や生産基盤の強化に対する支援を行うとともに、消費宣伝活動、新たな販路開拓やメニュー開発等を行う。						始期	H22	
									終期	R6	
	K P I	しいたけ原木生産量									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	210 m3	目標値	210 m3	目標値	210 m3	目標値	210 m3	目標値	210 m3
				実績値	220 m3	実績値	m3	実績値	m3	実績値	m3
				達成率	104.76 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計予算額	19,625 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額			15,256 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績は、ほぼ想定どおりの成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえるとKPIはそのまま目標を達成すると見込まれるが、乾しいたけ生産量の6年度の執行方法の見直し等は想定していない。								

6	当初	事項	県産大径材生産促進事業費						予算主管課	林業政策課	
	事業概要	概要	大径材に対応できる機械や路網の改良、集積・保管場所の確保、サプライチェーンの構築を支援する。						始期	R4	
									終期	R6	
	K P I	しいたけ原木生産量									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間		時点・期間	
		現状値	65 m3	目標値	149 m3	目標値	169 m3	目標値	m3	目標値	m3
				実績値	109 m3	実績値	m3	実績値	m3	実績値	m3
				達成率	73.15 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計予算額	7,993 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額			7,956 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。） 県内市場における県産大径材の取り扱い量の割合は増加したものの、住宅着工数の減少などに伴い、想定していたよりも大径材の出材状況が伸びなかったことで未達成となった。									
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績は想定より下回ったが、6年度以降も市場における大径材の取扱量の比率は伸びると期待されることから、市場の動向を注視しながら引き続き事業を実施することとし、執行方法の見直し等は想定していない。								

7	当初	事項	エリートツリー活用省力化モデル事業費							予算主管課	森林整備課
		事業概要	成長の早いエリートツリーを活用し、育林の省力化と経費節減の実証と県産「スギ」エリートツリーの開発を行い、造林・保育作業者の労働環境の改善と定着率向上を図るための支援を行う。							始期	R5
										終期	R7
	K P I	エリートツリー植栽面積									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R3年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	—
		現状値	0 ha	目標値	25 ha	目標値	50 ha	目標値	75 ha	目標値	— ha
				実績値	26 ha	実績値	ha	実績値	ha	実績値	ha
				達成率	104.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計予算額	5,600 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額			5,436 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績は、想定どおりの成果が出ており、6年度以降も現状のニーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度予算の見直しは想定していない。								

8	12月補正後（追加）	事項	原木生産緊急対策支援事業費							予算主管課	森林整備課
		事業概要	新型コロナウイルス感染症や円安等の影響により燃油などの価格高騰が長期化するなか、原木やコンテナ苗の生産に取り組む生産者に対し、経営の安定化と木材の安定供給を図るため、燃油など価格高騰分の一部を緊急的に支援する。							始期	R5
										終期	R6
	K P I	支援を受けた原木生産者及び種苗生産者の経営の継続率									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間		時点・期間	
		現状値	100 %	目標値	100 %	目標値	100 %	目標値	%	目標値	%
				実績値	100 %	実績値	%	実績値	%	実績値	%
				達成率	100.00 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
	コスト		最終現計予算額	114,000 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	
決算額			104,369 千円	決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5年度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 長引く物価高騰で生産コストが高くなるなか、生産者の経営悪化の防止や県産材の供給拡大に資する当事業は、現状のニーズを踏まえ維持することとし、また、KPIについても目標を達成すると考えられることから、6年度の執行方法は想定していない。								

9 当初	事項	県有林経営事業特別会計繰出金								予算主管課	森林整備課
	事業概要	県有林経営事業特別会計の早期財政健全化のために必要な経費を繰り出す。								始期	H12
										終期	R9
	K P I	県有林及び県営林における森林整備面積(主伐・搬出間伐)									
		KPI種別	上がると良い指標	R 5 年 度		R 6 年 度		R 7 年 度		R 8 年 度	
		時点・期間	R4年度	時点・期間	R5年度	時点・期間	R6年度	時点・期間	R7年度	時点・期間	R8年度
		現状値	68 ha	目標値	55 ha	目標値	55 ha	目標値	80 ha	目標値	80 ha
				実績値	69.15 ha	実績値	ha	実績値	ha	実績値	ha
				達成率	125.73 %	達成率	%	達成率	%	達成率	%
		コスト		最終現計予算額	162,908 千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円	最終現計予算額	千円
決算額	160,394 千円			決算額	千円	決算額	千円	決算額	千円		
5 年 度	要因分析	評価年度（「達成率100%未満」の場合、要記入。）									
		総括（事業最終年度の場合、要記入。）									
	見直し方向性	維持	見直し内容の説明（維持・廃止・改善・大幅見直し（事業組替等）） 5年度のKPIの実績はほぼ想定どおりの成果がでており、6年度以降も現状の二ーズを踏まえると、KPIは目標達成すると考えられることから、6年度の執行方法や7年度の予算見直しは想定していない。								